

ビデオ プロジェクター

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話…050-3754-9577

修理相談窓口

フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話…050-3754-9599

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX (共通) 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に

「203」+「#」

を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

クイックリファレンスマニュアル

VPL-VW535 **ES**

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

このクイックリファレンスマニュアルと付属の CD-ROM に入っている取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



4687787010

このマニュアルについて

本書は、本機の設置から映像を映すまでの簡単な説明と、本機を取り扱う際に事故を防ぐための重要な注意事項を記載しています。

「警告ランプの見かた」と「ランプを交換する」は必要に応じてご覧ください。

操作方法について詳しくは、付属の CD-ROM に収録されている取扱説明書をご覧ください。

Step 1

準備する 15 ページ

Step 2

設置する 16 ページ

Step 3

接続する 18 ページ

Step 4

見る 19 ページ

困ったときは 警告ランプの見かた 21 ページ

メンテナンス ランプを交換する 22 ページ

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

5年に1度は、内部の点検を、ソニーの相談窓口にご相談ください（有料）。

故障したら使わない

すぐに、ソニーの相談窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・ 煙が出たら
- ・ 異常な音、においがしたら
- ・ 内部に水、異物が入ったら
- ・ 製品を落としたりキャビネットを破損したときは



- ❶ 電源を切る。
- ❷ 電源コードや接続コードを抜く。
- ❸ ソニーの相談窓口連絡する。

警告表示の意味

この説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる場合があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与える場合があります。

注意を促す記号



注意



火災



感電



高温



破裂



手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号



接触禁止



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く



アース線を接続せよ



警告



火災



感電

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながる場合があります。

電源コードを傷つけない



禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- ・ 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、ソニーの相談窓口にて交換をご相談ください。

指定された電源コード、接続ケーブルを使う



注意

取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、火災や感電、故障の原因となることがあります。

内部を開けない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたら改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はソニーの相談窓口にご相談ください。

内部に水や異物を入れない



禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

排気口、吸気口をふさがない



禁止

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・ 壁から 30 cm 以上離して設置する。
- ・ 密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・ 布などで包まない。
- ・ 立てて使用しない。

レンズをのぞかない



禁止

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く



電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

本機を運搬するときは落下に注意する



注意

本機を持ち運ぶときは落下にご注意ください。落下するとプロジェクターが壊れたり、ケガの原因となります。

プロジェクターの上に水が入ったものを置かない



禁止

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く



安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜く

心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用する



電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。

禁止

電源プラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む



指示

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない



禁止

ワイヤレス機能の使用を中止してください。電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

幼児の手の届かない場所に置く



禁止

本体の高温部でやけどしたりする場合があります。お子様がさわらないようにご注意ください。

床置き、または天井つり金具を使った天井つり以外の設置をしない



禁止

それ以外の設置をすると火災や大けがの原因となることがあります。

電源コードのアース端子からはずした絶縁キャップなどの小さな部品は、幼児が飲み込む恐れがあるので、手の届かないところに保管する



指示

万一誤って飲みこんだときは、窒息する恐れがありますのでただちに医師にご相談ください。

安全アースを接続する



アース線を接続せよ

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。



注意

下記の注意を守らないと、
けがをしたり**周辺の物品に
損害**を与えることがあります

不安定な場所に設置しない



禁止

ぐらついた台や棚の上、あるいは傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

水のある場所に置かない



水ぬれ禁止

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

排気口付近に物を置かない



禁止

投影中は排気口付近が高温になるため、やけどや変形、事故の原因となります。

レンズ調整時に指を挟まない



手を挟まれないよう注意

レンズ調整時やピクチャーポジション機能の使用時はレンズ付近に触れないでください。指を挟み、けがの原因になることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない



禁止

火災や感電の原因となることがあります。

スプレー缶などの発火物や燃えやすいものを排気口やレンズの前に置かない



禁止

火災の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない



接触禁止

感電の原因となります。

前脚部（調整可）調整時に指を挟まない



手を挟まれないよう注意

前脚部調整は慎重に行ってください。前脚部に指を挟み、けがの原因になることがあります。

定期的に内部の掃除を依頼する



注意

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をソニーの相談窓口にご相談ください(有料)。特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

排気口周辺には触れない



高温

排気口周辺は光源用ランプの熱で温度が高くなっています。手などを触れると火傷の原因となります。

レンズの前に遮蔽物を置かない



禁止

投影中にレンズのすぐ前で光を遮らないでください。遮光した物に熱による変形など影響を与える可能性があります。

ワイヤレス機能を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない



禁止

ワイヤレス機能の使用を中止してください。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

光源用ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。高圧水銀ランプには、次のような特性があります。

- ・衝撃や、使用時間の経過による劣化などにより大きな音をともなって破裂したり、不点灯となって寿命が尽きる場合があります。
- ・個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがあります。指定の時間内であっても破裂、または不点灯状態になることがあります。
- ・交換時期を越え、破裂、不点灯やチラつきの発生の可能性が高くなります。

「ランプを交換してください。」というメッセージが表示されたときには、光源用ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しい光源用ランプと交換してください。



警告



破裂



高温

下記の注意事項を守らないと、破裂・発熱・液漏れにより、**死亡**や**大けが**などの人身事故になることがあります。

光源用ランプ交換は光源用ランプが充分に冷えてから行う



高温

電源を切った直後は光源用ランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。光源用ランプ交換の際は、電源を切ってから1時間以上たって、充分に光源用ランプが冷えてから行ってください。



注意



破裂

下記の注意事項を守らないと、**けが**をしたり**周辺**の**物品**に**損害**を与えることがあります。

光源用ランプが破裂したときはすぐに交換を依頼する



注意

光源用ランプが破裂した際には、プロジェクター内部やランプハウス内に破片が飛散している可能性があります。ソニーの相談窓口に光源用ランプの交換と内部の点検を依頼してください。また、排気口よりガスや粉じんが出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれていますので、万が一吸い込んだり、目に入ったりした場合は、けがの原因となる場合があります。速やかに医師にご相談ください。

光源用ランプを傾けて持たない



注意

光源用ランプを傾けて持つと、光源用ランプの破損時に光源用ランプの破片が飛び、けがの原因となる場合がありますので、水平に持ってください。

使用済み光源用ランプを破棄する場合



注意

本機的光源用ランプの中には水銀が含まれています。使用済み光源用ランプは、地域の蛍光管の廃棄ルールに従って廃棄してください。

電池についての安全 上のご注意

ここでは、本機で使用可能な乾電池についての注意事項を記載しています。

⚠ 警告

- 機器の表示に合わせて⊕ と ⊖ を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多い場所で使用しない。
- 液漏れした電池を使用しない。
- 電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは本体から取り出す。

⚠ 注意

- 外装チューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。
- 火のそばや直射日光が当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。

3D メガネの電池を交換／廃棄するときのご注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。

必ず指定の電池に交換してください。
使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

天吊りする場合の安全 上のご注意

⚠ 警告

天井への取り付け、移動は絶対に自分でやらない



禁止

天井への取り付けは必ずソニーの相談窓口にご相談ください(有料)。

落下防止をする



指示

天吊りする場合、必ずワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。その施工は、専門の設置業者に依頼してください。

特約店様へ

⚠ 警告

天井への取り付けには細心の注意を要する



注意

- 天井への取り付け強度が不十分だと、落下により死亡や大けがにつながる場合があります。必ずソニー製または推奨の取付金具を使用してください。
 - 取り付けを安全に行うために、本書および取付金具説明書の注意事項をお読みください。
 - 取り付けは、取付金具説明書の手順に従い確実に行ってください。
- 取り付けが不完全な場合、落下する可能性があります。
また、取り付け時には手をすべらせてプロジェクターを落下させ、けがをすることのないようご注意ください。

調整用工具を内部に入れない



禁止

調整中などに、工具を誤って内部に落とすと火災や感電の原因となることがあります。
万一、落とした場合は、すぐに電源を切り、電源コードを抜いてください。

⚠ 注意

低い天井に天吊りしない



指示

頭などをぶつけてけがをすることがあります。

天吊りを行う際は必ず天井の強度を確認する



指示

天井の強度を確認しないまま設置すると落下による事故の原因となります。

3D 映像視聴について

⚠ 注意

- 3D 映像をご覧になる以外には 3D メガネを使用しないでください。
- 3D 映像の視聴中や 3D テレビゲームのプレイ中に、眼の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。3D 映像を視聴したり、3D テレビゲームをしたりするときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断してください。不快な症状が出たときは、回復するまで 3D 映像の視聴や 3D テレビゲームのプレイをやめ、必要に応じて医師に相談してください。本機と一緒に使用する機器やソフトの取扱説明書もあわせてご覧ください。なお、お子様（特に 6 歳未満の子）の視覚は発達段階にあります。お子様が 3D 映像を視聴したり、3D テレビゲームをプレイする前に小児科や眼科などの医師にご相談ください。大人のかたは、お子様が上記注意点を守るよう監督してください。
- 大人の監視がない場合、お子様だけのご使用はなさないでください。
- ヒンジ（折りたたみ部）に指などを挟みこまれないようご注意ください。
- 3D メガネを落としたり改造したりしないでください。
- メガネのレンズが割れた際は、目や口に破片が入らないようにしてください。

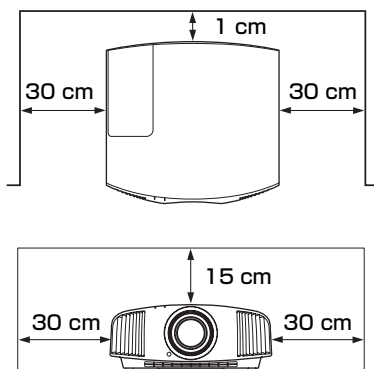
設置・使用時のご注意

設置に適さない場所

次のような場所には置かないでください。故障や破損の原因となります。

壁の近く

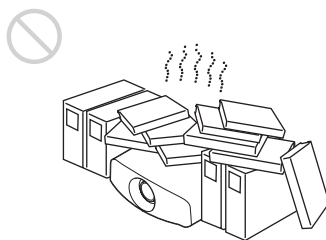
本機の性能信頼性のために、図のように周囲の壁から離して設置してください。



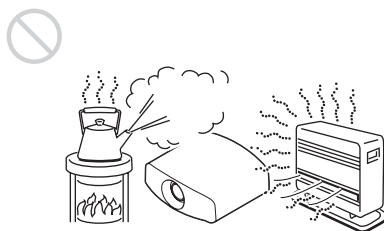
空調からの風や、本機またはほかの周辺機器からの排気などの影響で、まれに画面にゆらぎが発生する場合があります。空調の風やこれら排気が本体前面に回り込まないように設置にご注意ください。

風通しの悪い場所

本機の周囲から 30 cm 以内には物を置かないようにしてください。

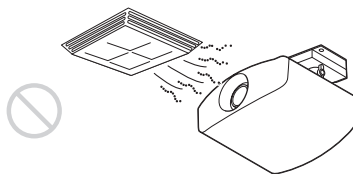


温度や湿度が非常に高い場所



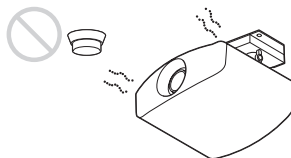
空調の冷暖気が直接当たる場所

結露や異常温度上昇により、故障の原因となることがあります。



熱感知器や煙感知器のそば

感知器が誤動作する原因となることがあります。



ほこりが多い場所、たばこの煙などが
直接入る場所



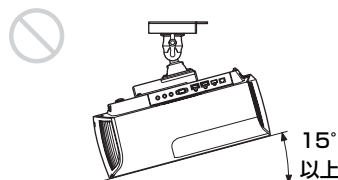
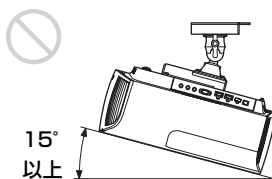
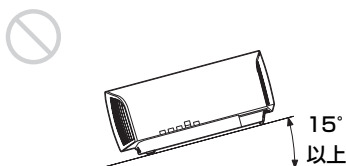
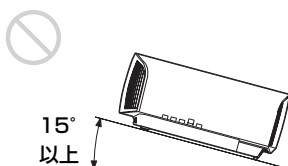
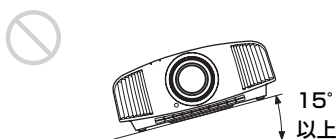
使用に適さない状態

次のような状態では使用しないでください。


本機を前後左右に傾ける

本機を 15 度以上傾けたり、床置きおよび天井つり以外での設置でお使いになることは避けてください。色むらや光源用ランプの信頼性を著しく損ねる原因となることがあります。

本機を前後に傾けて配置するとスクリーン上の画像は台形状になります。スクリーンとレンズは平行となるように配置してください。



標高の高い場所でご使用になる場合

海拔 1,500 m 以上の場所でのご使用に際しては、「 初期設定」メニューの「高地モード」を「入」にしてください。そのまま使用すると、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

使用上のご注意

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えなかったりすることがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。これらは、プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。また、複数台の液晶プロジェクターを並べてスクリーンへ投写する場合、プロジェクターごとに色合いのバランスが異なるため、同一機種の組み合わせであってもそれぞれ色合いの違いが目立つ場合があります。

結露について

プロジェクターを設置している室内の急激な温度変化および、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだときなどは結露を引き起こすことがあります。結露は故障の原因となりますので、冷暖房の温度調節にはご注意ください。結露が起きたときは、プロジェクターの電源を入れたまま約2時間放置した後でお使いください。

セキュリティに関するご注意

- 通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
- 使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から製品にアクセスされる可能性があります。本機をネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認の上ご使用ください。
- セキュリティの面から、製品をネットワークに接続してご使用になる際は、ブラウザでコントロール画面にアクセスし、アクセス制限設定を工場出荷時の設定値から変更して設定することを強く推奨します。（取扱説明書の「ネットワーク機能を利用する」参照）
また、定期的にはパスワードを変更することを推奨します。
- 設定作業中または設定作業後のブラウザで他のサイトを閲覧しないでく

ださい。ブラウザにログインした状態が残りますので、意図しない第三者の使用や悪意のあるプログラムの実行を防ぐために、設定作業が完了したら必ずブラウザを終了してください。

ご注意

一般家庭用以外での使用による故障や損傷、または、それに伴う損害等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。

万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

ご注意

LAN 端子の接続について

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクタをこの端子に接続しないでください。

警告

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。

アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

注意

付属の電源コードは本機の専用品です。
他の機器には使用できません。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。



明るい光源と同じように、
ビームをのぞき込まない
こと。RG2 IEC
62471-5:2015

3D メガネについて

3D 信号表示のため、3D メガネはプロジェクターと Bluetooth 技術にて通信を行います。

(a) 無線装置が動作する周波数帯域：

2.4 - 2.4835 GHz

(b) 無線装置が動作する周波数帯域で放出される最大高周波電力：

4.30 dBm (E.I.R.P.)

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。

2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。

3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ソニーご相談窓口までお問い合わせ下さい。

2.4 FH1

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 10 m です。

本機器には、技術基準適合証明を受けた特定無線設備が収納されています。

注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。

必ず指定の電池に交換してください。
使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

電池の使用に関するご注意

リモコンには、単 3 型乾電池が 2 個必要です。

破裂の原因となりますので、マンガン乾電池またはアルカリ乾電池以外は使わないでください。

付属品を確認する

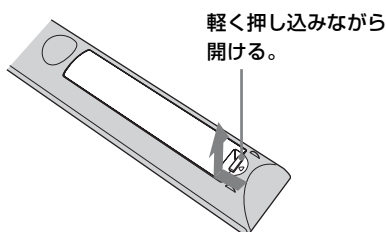
箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

- ・ リモコン RM-PJ24 (1 個)
- ・ 単 3 型乾電池 (マンガン) (2 本)
- ・ レンズキャップ (1 個)

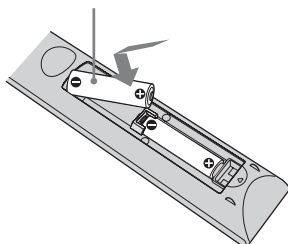
お買い上げ時は本体に取り付けられています。ご使用時は取りはずしてください。

- ・ 電源コード (1 本)
- ・ クイックリファレンスマニュアル (本書) (1 部)
- ・ 取扱説明書 (CD-ROM) (1 枚)
- ・ 保証書 (1 部)

リモコンに電池を入れる



● 極側から電池を入れる。



リモコンの取り扱いについてのご注意

- ・ 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- ・ 直射日光が当たるところ、暖房機具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

CD-ROM マニュアルの使いかた

Adobe Reader がインストールされたコンピュータで、取扱説明書を閲覧できます。

Adobe Reader は、Adobe のウェブサイトから無償でダウンロードできます。

1 CD-ROM に収録されている index.html ファイルを開く。

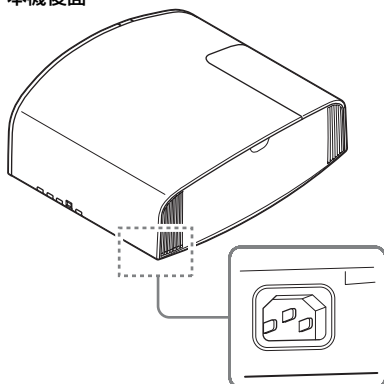
2 読みたい取扱説明書を選択してクリックする。

- ◆CD-ROM が破損または紛失した場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口経由で購入できます。

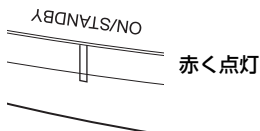
1 レンズがスクリーンに平行になるように本機を置く。

2 電源コードを本機につないでから、電源プラグをコンセントに差し込む。

本機後面



本機前面

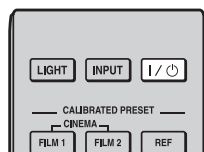


ご注意

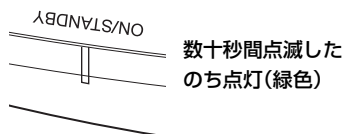
電源コードを本機に接続した際、ON/STANDBY ランプがオレンジ色に点滅することがあります。

その間、操作を受け付けなくなりますが、故障ではありません。赤色の点灯に変わるまでお待ちください。

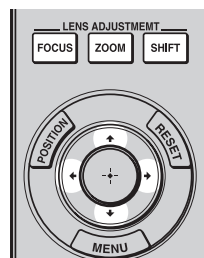
3 I/⏻ (オン/スタンバイ) ボタンを押して電源を入れる。



本機前面



4 スクリーンに画像を映して、画面のピント、大きさ、位置を調整する。



① ピントを合わせる

LENS ADJUSTMENT ボタン (FOCUS) を押してレンズ調整画面 (パターン画面) を表示し、↑/↓/←/→ ボタンで調整する。

② 大きさを合わせる

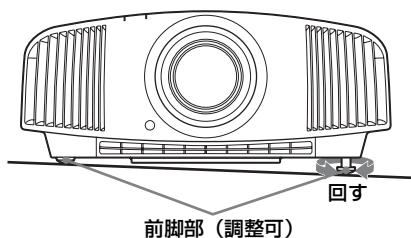
LENS ADJUSTMENT ボタン (ZOOM) を押してレンズ調整画面 (パターン画面) を表示し、↑/↓/←/→ ボタンで調整する。

③ 位置を合わせる

LENS ADJUSTMENT ボタン
(SHIFT) を押してレンズ調整画面
(パターン画面) を表示し、↑/↓/
←/→ ボタンで調整する。

設置面の傾きを調整するには

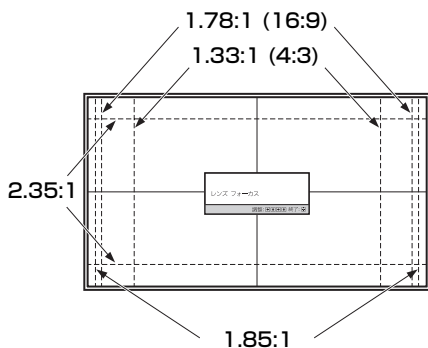
本機を置く台などが水平でない場合は、
前脚部（調整可）を使って調整できま
す。



ご注意

- ・ 本体を垂直方向に傾けると、投影画面が台形に歪みますのでご注意ください。
- ・ 前脚部（調整可）を回す際は、手を挟まないようご注意ください。

レンズ調整画面（パターン画面）

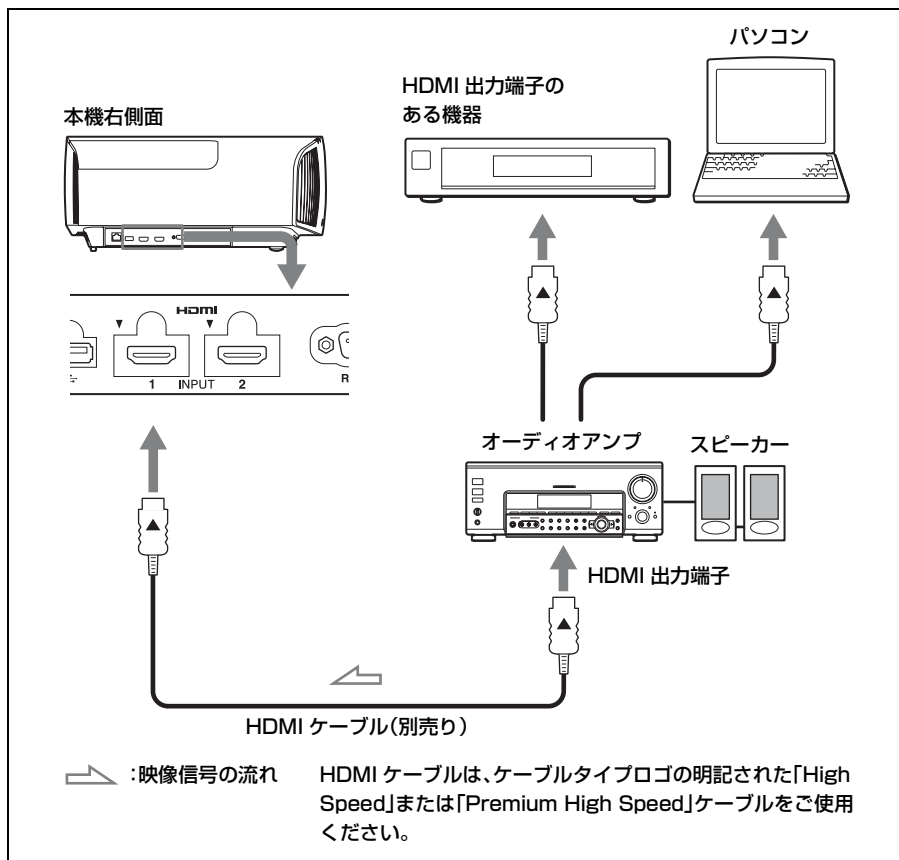


破線は各アスペクト比の画角を示しています。

◆ さらに詳しく知りたいときは、取扱説明書（CD-ROM）の「接続と準備」をご覧ください。

接続するときは

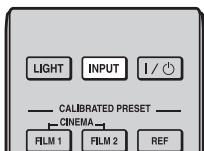
- ・各機器の電源を切った状態で接続してください。
- ・接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- ・プラグはしっかり差し込んでください。不十分な接続は動作不良、画質不良の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- ・接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



◆さらに詳しく知りたいときは、取扱説明書（CD-ROM）の「接続と準備」をご覧ください。

映像を投写する

- 1 本機と、本機に接続した機器の電源を入れる。
- 2 INPUT ボタンを押して、スクリーンに入力選択パレットを表示させる。



- 3 スクリーンに映したい機器を選ぶ。

INPUT ボタンを繰り返し押すか、
 ↑/↓/⊕ (確定) ボタンで映したい
 機器を選びます。



例: 本機の HDMI 1 端子につないだビデオ
 の画像を見る

ファンが止まり、ON/STANDBY
 ランプが緑色の点滅から赤色の点灯
 変わります。

以上で電源が切れました。電源コード
 を抜くことができます。

ご注意

ランプの点滅中は、電源コードを抜かな
 いでください。

ちょっと一言

上記の手順のかわりに I/⏻ (オン/ス
 タンバイ) ボタンを約 1 秒押したまま
 にしても電源が切れます。

電源を切る

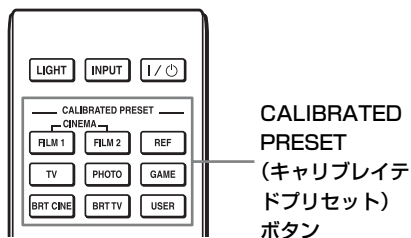
- 1 I/⏻ (オン/スタンバイ) ボタン
 を押す。
 「パワーオフしますか?」という
 メッセージが表示されます。
- 2 メッセージが消える前に I/⏻ (オ
 ン/スタンバイ) ボタンをもう一
 度押す。

ON/STANDBY ランプが緑色に点
 滅し、本機内部の温度を下げるため
 に、ファンが回り続けます。

◆ さらに詳しく知りたいときは、取扱説
 明書 (CD-ROM) の「見る」をご覧く
 ださい。

画質を選ぶ

**CALIBRATED PRESET ボタンを
押す。**



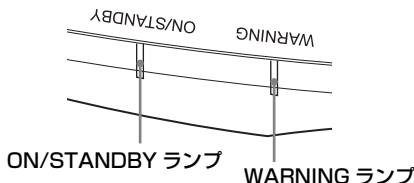
設定モード	説明
CINEMA FILM 1 (シネマ フィルム 1)	最高画質といわれるマスターポジフィルム（ダイナミックレンジの広い、透明感のある画質）を再現する画質設定
CINEMA FILM 2 (シネマ フィルム 2)	「シネマ フィルム 1」をベースにした、実際の映画館の映像美を再現する画質設定
REF（リファレンス）	コンテンツの持つ画質そのものを忠実に再現したい場合や、調整のない素直な画質を楽しむのに適した画質設定
TV（TV）	テレビ番組やスポーツ、コンサート等のビデオ映像に適した画質設定
PHOTO（フォト）	デジタルカメラなどの静止画に適した画質設定
GAME（ゲーム）	ゲーム用にメリハリある色再現や応答性に優れた画質設定
BRT CINE（ブライトシネマ）	リビングルームなどの明るい環境で、映画を見るのに適した画質設定
BRT TV（ブライト TV）	リビングルームなどの明るい環境で、テレビ番組やスポーツ、コンサート等のビデオ映像に適した画質設定
USER（ユーザー）	お好みに合わせた画質に調整、設定し保存。お買い上げ時は「リファレンス」と同じ設定

◆さらに詳しく知りたいときは、取扱説明書（CD-ROM）の「見る」をご覧ください。

困ったときは

警告ランプの見かた

本機では、本体前面の ON/STANDBY ランプと WARNING ランプの点灯または点滅で不具合をお知らせします。



点滅／点灯状態	点滅回数	原因と対処
<p>(赤点滅)</p>	2 回	光源用ランプカバーをしっかりとめて、ネジをしめてください。
	3 回	ランプが高温になっています。電源を切り、ランプが冷えてからもう一度電源を入れてください。 症状が再発する場合は、ランプ消耗が考えられます。新しいランプに交換してください。
<p>(赤点滅) (赤点滅) 同時に点滅</p>	2 回	本体内部温度が高温になっています。排気口、吸気口がふさがれていないか、標高が高い場所で使用していないか確認してください。
	3 回	ファンが故障しています。ソニーの相談窓口にご相談ください。

ご注意

上記以外の警告ランプ点滅ならびに上記対応を行っても解決しない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。

◆ご使用中にトラブルが発生したり、メッセージが表示された場合は、取扱説明書（CD-ROM）の「困ったときは」をご覧ください。

メンテナンス

光源用ランプには寿命があります。画面が暗くなったり色がおかしくなった場合、または画面に「ランプを交換してください。」というメッセージが出たときは、光源用ランプが消耗しています。新しい光源用ランプ（別売り）と交換してください。


ちょっと一言

光源用ランプの寿命は設置環境や使用状況によって変化することがあります。ランプ点灯直後、数分間以内でのパワーオフを避けることにより、ランプをより長く使っていただくことができます。

用意するもの：

- ・ プロジェクターランプ LMP-H280（別売り）
- ・ 標準プラスドライバー
- ・ 布（傷防止）

警告

- ・ （オン／スタンバイ）ボタンで電源を切った直後は光源用ランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。光源用ランプを十分に冷やすため、光源用ランプ交換は、本機の電源を切ってから1時間以上たってから行ってください。
- ・ 交換ランプのガラス面は触らないでください。もし汚れが付着した場合は乾いた柔かい布でふき取ってください。
- ・ 天井つりした状態での光源用ランプ交換は十分注意してください。

- ・ 天井つりした状態で光源用ランプを交換するときは、ランプカバーの斜め下に立ち、ランプドア（内蓋）をはずすときはなるべく傾けないでください。万一光源用ランプが破裂している場合に、光源用ランプの破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。
- ・ 光源用ランプを取り出すときは、光源用ランプを水平に持ち上げ、傾けないでください。光源用ランプを傾けて持つと、万一光源用ランプが破損した場合に、光源用ランプの破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

ご注意

- ・ 新しい光源用ランプは、必ず指定された交換用ランプをお使いください。それ以外のものをお使いになると、故障の原因になります。
- ・ 光源用ランプを交換する前に必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ON/STANDBY ランプの消灯を確認してください。

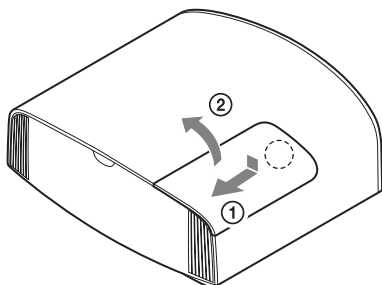
ランプを交換する

- 1 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。
- 2 床置きの場合は本機や机などに傷がつかないように布などを敷き、本機を布の上に置く。

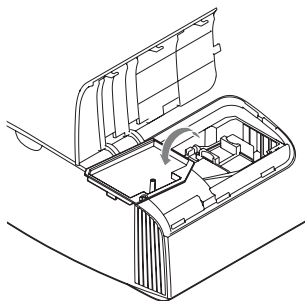
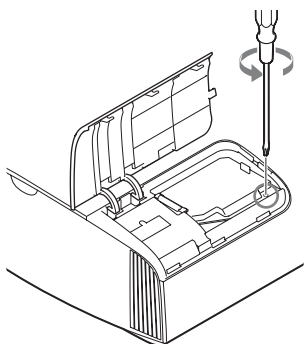
ご注意

本機は不安定な場所には置かないでください。

- 3 光源用ランプカバーの図の○部分を押しながらカバーをずらし(①)、光源用ランプカバーを開ける(②)。

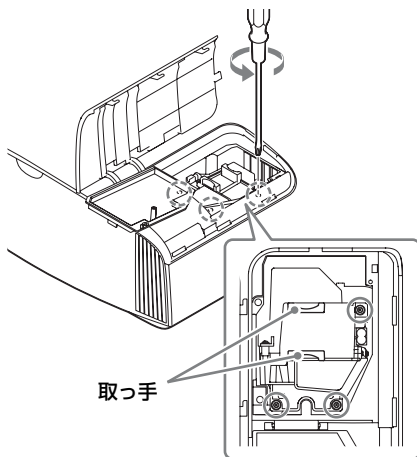


- 4 ランプドア（内蓋）を固定しているネジ（1か所）をプラスドライバーでゆるめ、ランプドアを開ける。



- 5 光源用ランプを固定しているネジ（3か所）をプラスドライバーで

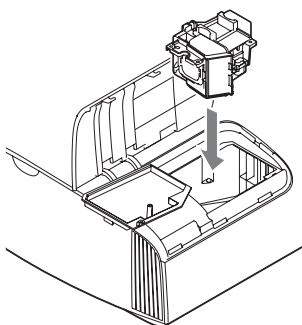
ゆるめ、取っ手を持って光源用ランプを上に取り出す。



ご注意

- ・ この3か所以外のネジをゆるめないでください。
- ・ 光源用ランプは取っ手を持って、取りはずし、取り付けを行ってください。

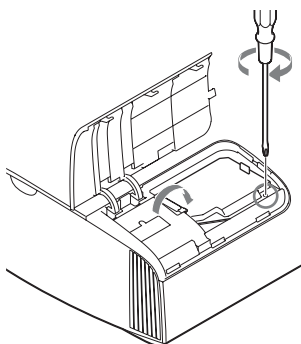
- 6 新しい光源用ランプの取っ手を持って奥まで確実に押し込み、ネジ（3か所）を締める。



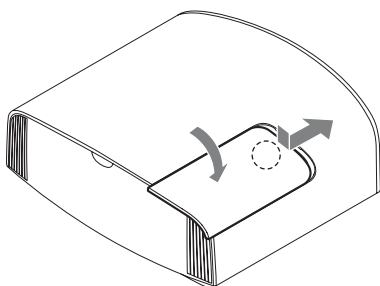
ご注意

光学ブロックには手をふれないでください。

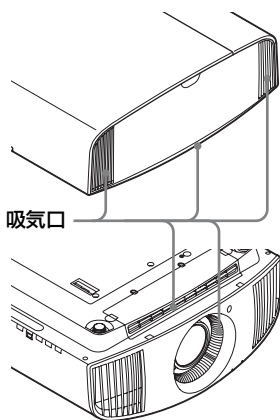
- 7 ランプドア（内蓋）を閉め、ネジを締める。




- 8 光源用ランプカバーを閉める。

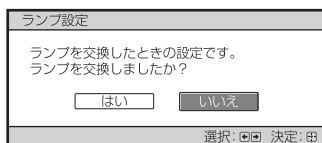


- 9 吸気口に付着したほこりをやわらかい布でふきとる。



- 10 本機の電源を入れ、「 初期設定」メニューのランプ設定項目を選択する。

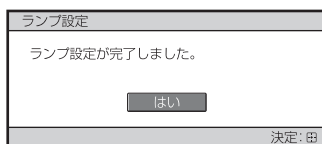
以下のようなメニュー画面が表示されます。



ちょっと一言

「セッティングロック」を「レベル B」に設定している場合は、いったん「切」にします。

- 11 「はい」を選択する。



警告

光源用ランプをはずしたあとのランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

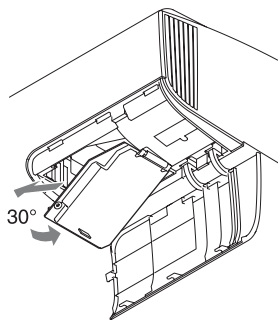
ご注意

- ・ 光源用ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。
- ・ 光源用ランプカバーが確実に閉まっていないと、電源が入りません。
- ・ 画面に表示されるメッセージを消す場合は、リモコンまたはコントロールパネルの任意のボタンを1回押してください。

天井つり状態での不点灯ランプ交換時 のご注意

光源用ランプの破損時に発生した光源用ランプの破片が飛び、けがの原因となることがあります。

天井つりした状態のときは、ランプドア（内蓋）を 30 度ほど開いた状態で少しランプドア（内蓋）を持ち上げてからゆっくりと横にスライドしてはずします。ランプドア（内蓋）をなるべく傾けないようにしてください。



お願い

本機の光源用ランプの中には水銀が含まれています。使用済みの光源用ランプは、地域の蛍光管の廃棄のルールに従って廃棄してください。

